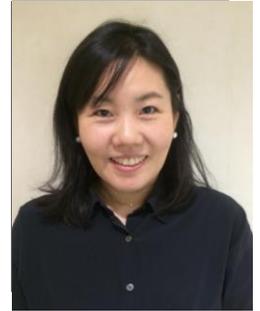


# 内容重視の日本語教育

## 研究者プロフィール

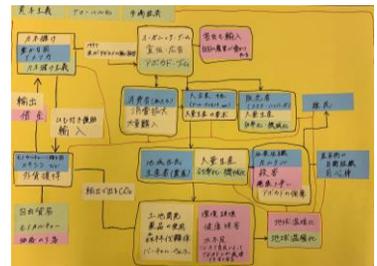
- ・ 国際学部 国際教養学科 准教授 房賢嬉
- ・ 専門分野：日本語教育
- ・ 研究分野：ことばの学習と教育に関する研究
- ・ 所属学会：日本語教育学会、言語文化教育研究学会
- ・ 「学習者の事実的用法「と」「たら」の使用実態－韓国人学習者のI-JAS ストーリ課題を中心に－」（2022年『日本学』共著）  
「学部生対象のキャリア教育における対話的問題提起学習の提案」（2020年『城西国際大学紀要』共著）



## 研究内容

グローバル化の下、世界規模で生存を支える基盤が脆弱化しており、大量生産・大量消費する社会のあり方の見直しを迫られています。言語はコミュニケーションの手段としてだけでなく、人間の生存を支えるための思考活動として機能することを踏まえると、言語教育も単なる言語スキルの教育を超えて、グローバル化社会を生きる当事者として自他の持続可能な生き方を追求し、社会に能動的に関わる力を養成するものとして機能する必要があると考えています。

日本語教育や大学学部の教養教育の一環として、環境、食糧、雇用問題などをコンテンツとして取り上げ、学生の問題意識を起点としながら、世界、人、コト、モノのつながりを紡ぎ、その中に潜む政治・社会・経済的な問題を「ことばを使って」理解し、発信する言語教育を研究しています。



## 関連キーワード

持続可能性日本語教育、シチズンシップ、生きる力

## 地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・ 外国人住民と日本人住民が持続可能な生き方を考える地域の日本語教室
- ・ キャリア教育
- ・ ワークショップや教材開発

## 研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email [srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp](mailto:srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp)

電話 022-354-8122